

# 早めのインフルエンザ予防接種でコロナ対策



これからの季節、新型コロナウイルスとインフルエンザの同時流行が懸念されています。国は早めの予防接種を勧めています。

## 接種時期に協力を

インフルエンザは、冬に流行



手洗いとマスク着用を呼び掛ける予防啓発ポスター

します。特に高齢者は重症化しやすいのが特徴です。予防接種を受けておくことで重症化を防ぐだけでなく、新型コロナウイルスと同時感染のリスクが小さくなります。

予防接種の効果は、接種後2週間目から5カ月程度といわれ、接種時期は流行する前の10月から12月中旬までが望ましいとされています。今年、インフルエンザワクチンの需要が高まる可能性があります。必要性の高い人が確実に受けられるように、高齢者などに優先的な接種期間を設定しています。接種する際は、あらかじめ医療機関に電話で予約をしてください。

■優先接種①10月5日(月)から65歳以上の、60歳から64歳の人で心臓や腎臓、呼吸器に重い病気が、免疫機能に重い障害がある人、②10月26日(月)からは希望する人。基礎疾患がある人、妊婦、生後6カ月から小学2年生、医療従事者は早めの接種を勧めます。日程は目安で、前後があつて

も接種を妨げるものではありませんが、協力をお願いします。

## 65歳以上の人は接種費無料

65歳以上の、60歳から64歳までの人で心臓や腎臓、呼吸器に重い病気が免疫機能に重い障害がある人は接種費用が全額助成されます。

■接種期間10月5日(月)～来年1月31日(日)

## 感染防止対策は継続して

新型コロナウイルスとインフルエンザを予防するためには、感染防止対策を続けることが大切です。感染しない、人にうつさないを意識し、3密の回避やマスク着用、手洗いを徹底しましょう。

◎保健予防課 (☎0942・30・9730、FAX0942・30・9833)

市ホームページ「高齢者の定期予防接種」へ  
詳しくはQRコード

## 「582クリーンパートナー」登録者募集

# 582団体が町をきれいにしてくれます

## 昨年は23tのごみを収集

「くめクリーンパートナー」は、市民や事業者の皆さんが市と協力して、道路や公園、河川などの清掃に取り組む制度です。随時、登録者を募集しています。活動で町がきれいになるのはもちろん、その活動の様子が市民の皆さんに伝わることで「ポイ捨てできない」と思ってもらって啓発の効果もあります。クリーンパートナー活動登録者数は、3月末で582団

体、2万1899人。昨年のクリーンパートナー活動で集まったごみの量は約23tで、ごみ収集車約8台分になります。

■対象個人グループ、ボランティア団体、事業所、学校など  
■内容 ①この吸い殻や空き缶などのごみを収集する清掃を年6回以上行う  
■清掃場所 市内全域の道路・公園・河川などで好きなところ  
■市から提供帽子やベスト、軍手、ごみ袋など。ほうきなどの清掃用具の貸し出しあり

■特典 ボランティア保険の加入  
希望者には活動者名入りの表示板を設置して、市ホームページでも紹介

■活動手順 ①活動場所を決める  
②活動届出書に必要事項を記入し、申し込み先に提出 ③合意書の締結 ④必要な道具を受け取り、活動を開始 ⑤1年間の活動報告書を年度末に提出

◎環境政策課 (☎0942・30・9146、FAX0942・30・9715)



朝礼前に清掃活動を行うキューセツの社員の皆さん



ソフトバンクとのコラボキャップやベストも提供しています

## 日々の活動が大切

近年マイクロプラスチックなどの「海洋ごみ」問題が深刻化しています。海へのごみの流出を防ぐには、ポイ捨てしないことが大切です。一人一人の日々の清掃活動が、地球環境を守ることに繋がります。

市ホームページ「クリーンパートナー活動」へ  
詳しくはQRコード

## かかりつけ医でPCR検査

9月23日から順次、かかりつけ医でも新型コロナウイルスのPCR検査、抗原検査ができるようになります。

発熱や気になる症状があるときは、受診前にかかりつけ医に電話で相談をしてください。医師が必要と判断した場合のみ検査をします。検査費用は公費負担で無料、初診料は自己負担。全てのかかりつけ医で検査ができるわけではありません。開始日や実施できる検査は、かかりつけ医によって異なります。◎市新型コロナウイルス相談センター (☎0942・30・9335、FAX0942・30・9833)

市ホームページ「新型コロナウイルスの相談窓口」へ  
詳しくはQRコード

## 家事代行などの利用料を補助

新型コロナウイルスの影響で、里帰り出産などができなくなった妊産婦が育児などの支援サービスを受ける場合の費用を一部補助します。

■対象 久留米市に住民登録があり、里帰り出産ができないなどで支援が必要な妊産婦  
■支援内容 ベビーシッター、家事代行など  
■期間 親子(母子)健康手帳交付後子どもが6カ月になる前日まで。4月1日から来年3月31日(火)までに利用したサービス  
■上限額 1日1万円(月4日、6カ月分まで) ◎子ども子育てサポートセンター (☎0942・30・9731、FAX0942・30・9718)

市ホームページ「育児等支援サービスの利用料補助」へ  
詳しくはQRコード

## 活動から生まれるつながり

工事やイベントの足場を扱う会社で騒音もあるため、少しでも地域の役に立ちたいと思っていました。近隣の清掃活動を20年以上継続しています。クリーンパートナーは平成14年に登録。毎月1回の早朝清掃と年1回の筑後川花火大会後の清掃活動を行っています。今では社員が自発的に行っており当たり前前の活動となりました。ごみを拾うと、すがすがしい気持ちになりますし、活動する中で社員とコミュニケーションの機会も増えます。近隣の方とあいさつを交わし、他の団体の

方と協力して活動することも。就職活動中の学生が、ボランティア活動に興味を持って、見に来てくれたこともありましたね。活動を通して多くの出会いがあり、うれしく感じています。以前に比べて会社周辺のごみは少なくなりました。大切なのは、社員にとっても、市民にとっても「拾うことで、捨てない意識を育てる」ことだと思います。毎月活動できなくてもいいので少しでも多くの方がクリーンパートナーに登録し、まちの清掃活動をすることが、意識を育てる、第一歩になると思います。



キューセツ 代表取締役 北島正晴さん